

<概要>

- カストロ大統領らはベルギーで開催されていた CELAC・EU 首脳会合に参加し、ウクライナ問題の終結やキューバへの制裁（の終結）などについて議論された。また、カストロ大統領が CELAC の次期議長に就任する旨発表された。
- 米務省のエンゲル・リストが更新された。その中で今年度新たに 10 人のホンジュラス人がリストアップされた。
- 脅迫のため一時避難していたホンジュラス汚職評議会（CNA）事務局長の帰国記者会見に同席したシヤックルフォード国連事務所代表に対して、CNA を批判している政府から、同代表を批判するツイッターが発信された。これに対して、同代表は本件記者会見への同席によってこうした問題が発生したことについて遺憾を表明した。

<本文>

1 外交

（１）カストロ大統領らのラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）・EU 首脳会合

カストロ大統領は、ベルギーで開催されていた CELAC・EU 首脳会合の参加し、CELAC の次期議長に就任する旨発表された。また、同首脳会議では、ウクライナ問題の終結やキューバへの制裁（の終結）などについて議論された。その他、カストロ大統領は滞在中に、EU との二国間会合で、二国間関係深化と環境破壊や人権についてのオープンで定期的な対話への合意と、レイナ外相とボレル外交政策担当との間の同対話開催のミニッツ署名を行われた。また、コロンビアのグスタボ・ペトロ大統領と二国間会合を行い、移民、エネルギー、国防などについて話し合った。

（２）米務省による政治家、元役人等に対する「エンゲル・リスト」掲載

7 月 19 日、米務省は反民主主義的活動や腐敗した政治家・役人等に対して米国入国を禁じるなどの制裁を講じるエンゲル・リストを更新した。その中で今年度新たに 10 人のホンジュラス人がリストアップされた。その中にはカストロ大統領の甥のマルセロ・チミリ元ホンジュラス電話公社社長、ジャニ・ローセンタール現自由党党首などが含まれている。

（３）米国によるホンジュラス空軍への制限解除

7 月 24 日、ホセ・マヌエル・セラーヤ国防大臣は、米国からホンジュラス空軍に対して出されていた制限措置に関して、米務省より解除する旨の書面通知をツイッターで公表した。

2 内政・経済

(1) 2025 年選挙日程

7 月 10 日、フリオ・ナバロ最高選挙裁判所 (TSE) 判事が、2025 年の総選挙日程について、予備選の立候補者登録受付を 2024 年 9 月 10 日に開始、予備選挙日は 2025 年 3 月 9 日、本選挙の立候補者受付は 2025 年 5 月 30 日になる旨語った。一方、ラッセル・トメ国会副議長 (兼国会選挙改革委員長、与党リブレ党) は、決選投票制や各選挙の分離、女性の参加拡大を視野に入れた選挙改革を議論する予定である旨語った。

(2) ムーディーズ及びスタンダード&プアーズ社による当国格付け

7 月 14 日、中米通貨評議会 (SECMCA) は、ムーディーズとスタンダード&プアーズ (S&P) 社の、ホンジュラスの国債格付けを発表し、ムーディーズは B1、S&P は BB-と昨年に引き続き維持される旨、発表した。ホンジュラスはレビューがおこなわれなかったため、昨年のレポートで報告された評価が維持される。

(3) ラテンアメリカ開発銀行 (CAF) 加盟事実上の否決

7 月 12 日、国会は、ラテンアメリカ開発銀行 (CAF) 加盟批准案が盛り込まれた議事録を反対多数で否決した。今回の否決で CAF 加盟は事実上、批准されないことになった。一方で、レンド国会議長が、5 月 16 日にいったん承認された CAF 批准法案審議が含まれた議事録を (国会で) 承認されたと見做して行政府に送る可能性があるとともに、(カストロ大統領の親戚が最高裁長官の) 最高裁憲法法廷に対しては、既に本件についての意見を求めるなど承認に向けた手段が講じられた。

(4) ホンジュラス汚職評議会事務局長の帰国とカストロ政権による国連当地代表の同評議会支持に対する批判

7 月 19 日、カスティジャーノス事務局長は、CNA 本部で帰国報告の記者会見をおこなった。その中で同事務局長は「我々の帰国は、正直者を強制退去させた者が壁の向こう側に行くべきで、そうした腐敗した者たちが刑務所に収監されるのを見届けることである」などと語った。同記者会見には国内市民団体やシンクタンクなどと共にシャックルフォード国連事務所代表が同席しており、同国連事務所代表も記者団に対して「国連は CNA の勇敢な職務を全面的に支援している。いかなる人権侵害も認めることはできない」などと語った。これを受けて 21 日、外遊中のカストロ大統領は自身のツイッターで「国連の政治化は受け入れられない」と発信した。また、マヌエル・セラヤ大統領顧問 (カストロ大統領の夫) も自身のツイッターで「国際法に熟知しているシャックルフォード代表が、カストロ大統領を攻撃するという CNA の政治ゲームに参加したことを非常に残念に思う」と発信するなど他の閣僚からもシャックルフォード批判のツイッターが発信された。これに対して同代表は 23 日、「在ホンジュラス国連事務所代表は、7 月 20 日の CNA の記者会見に同席したことが、ホンジュラス高官によるあらぬ不快感を惹起したことを遺憾に思う。我々全ての活動は、誠意と客観性、中立性、独立性に基づいていることを強調する。その目的は、協力と相互尊重であり、

ホンジュラスの持続可能な発展に寄与することである。議論の余地なく、我々はホンジュラス政府と協働し、国家や国民の福祉へ向けられた努力に寄り添うことを改めて確認する」とのコミュニケを発表した。

＜主要経済指標＞

◇主要経済指標	2023 年		
	6 月	5 月	4 月
インフレ率（前年同月比）	5.60	6.58	7.44
貿易収支（百万ドル）	—	—	—
輸出（百万ドル）	—	—	—
輸入（百万ドル）	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	7913.8	8018.5	8059.4.5
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	24.72	24.68	24.69

（出典：ホンジュラス中央銀行） ※貿易収支、輸出入、外国送金は、四半期毎に発表

（了）